

令和8年8月18日

令和8年度 第1回 大阪市立聖賢小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立聖賢小学校

校 園 長 名 林 田 泰 治

日 時		令和8年5月14日	
場 所		聖賢小学校 多目的室①	
検 討 者	委員 など	伊藤 春男（会長） 北出 浩一（委員） 佐野 正博（委員） 佐々木 美恵子（委員） 4名	
	校 園	林田 泰治（校長） 金子 俊彦（教頭） 盛田 滋久（教諭）	
	区役所	長井 香（保健福祉課）	
議 題		(1)「令和8年度 運営に関する計画」目標別シート1【安全・安心な教育の推進】について (2)「令和8年度 運営に関する計画」目標別シート2【未来を切り拓くための学力・体力の向上】について (3)「令和8年度 運営に関する計画」目標別シート3【学びを支える教育環境の充実】について	
協 議 要 旨		協議の結果	意見の概要
		(1) 目標及び取組内容に関して、以下の内容について概ね理解を得た。 ・ 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を増やす。	・ いじめの定義を子どもが知っているのかがまず大事で、個人の感じ方や保護者の感じ方にずれがあると解決が難しいところがある。最近では、保護者が子どもから評価してもらおうとして子どもの味方になるところがある。保護者にもいじめについて考える機会があるとよい。 ・ 行事などで子どもの様子を見ると、楽しそうにしている本質的には変わっていないと感じる。困ったときに、近くの人に相談できれば早い段階で気づくことができ、重大事態になる前に対策を考えることができる。 ○最近の子どもたちの中には、楽しければいいというところがある。話を聞くと、「あいつ笑ってたやん。」と返ってくることもある。笑っているしかなかったのではないかなど相手がどう思っていたのかを考えることを大切にしたい。 ○スクールロイヤーの出前授業など教員に研修を行うことで、アンテナを高くし、いじめを見逃さないようにしたい。また、児童アンケートを年2回行い、早期に気付けるようにしていく。
		(2) ・ 経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問に最も肯定的に回答する児童の割合を増やす。	○校内での研究を「「交流を通して自分の考えを深める児童の育成」～物語文を通して～」とし、学級の友達との交流を通して、自分の考えを深められるように授業をデザインしていくことを目指す。

	(3)	・令和8年度末児童アンケートの「外国や地域の文化や伝統などに触れるゲストティーチャーによる学習は楽しみ(い)ですか。」において肯定的に答える児童の割合を増やす。 ・教員の働き方改革において、時間外勤務時間を減らす。	○近年外国籍の子どもが増えている。外国の文化に触れる授業を増やし、多文化についての理解ができるようにしたい。 ○行事の改編を実施。春の聖賢スポーツフェスティバル(SSF)を秋に変更し、低・中・高で団演を実施する。秋の全校オリエンテーリングを春に変更するなど行事の見直しを図った。
協 議 資 料		・令和8年度「運営に関する計画」 ・聖賢小学校いじめ対応に関するスローチャート ・聖賢小学校安心ルール	
備 考		傍聴者 0名	